

競技用靴のルール変更における本大会の適用について

全国中学校駅伝大会実行委員会

競技用靴のルールが2024年11月1日から変更されました。本大会のコースの大半は芝生を走行するため、クロスカントリーにおけるシューズの規定を適用します。

【2024年11月1日から有効】

競技	ソールの最大の厚さ (本規定 10.6 による)	その他の要件/注意
クロスカントリー	20mm スパイクシューズ または 40mm ノン・スパイクシューズ	競技者はスパイクシューズまたはノン・スパイクシューズ(ロードシューズなど)を履くことができる。スパイクシューズを履く場合、靴底の最大の厚さは20mmを超えてはならない。ノン・スパイクシューズを履く場合、靴底の最大の厚さは40mmを超えてはならない。

【ノン・スパイクシューズについて】

靴底の最大の厚さが40mmを超えているノン・スパイクシューズ(ロードシューズ)についての使用を禁止します。市販されている、以下のシューズについては40mmを超えているため使用を禁止とします。

- ①マジックスピード4 (アシックス)
- ②アディゼロプライム X2.0STRUNG (アディダス)
- ③アディゼロプライム X (アディダス)
- ④FUELCELL SUPERCOMP TRAINER (ニューバランス)
- ⑤FAST-RB NITORO ELITE (プーマ)

上記に記載したもの以外にも規定を超えるシューズが存在する可能性があるため、必ず選手の使用するノン・スパイクシューズを事前に確認してください。

【スパイクシューズについて】

靴底の最大の厚さが20mmを超えているスパイクシューズについての使用を禁止します。また、本大会会場の希望が丘文化公園陸上競技場はニードルピンが使用できません。必ず選手の使用するスパイクシューズを事前に確認してください。

競技注意事項に以下の内容を追加します。

- 7 競技用シューズの規定について
 - (1) 競技用靴については競技規則 TR5.2 を適用する。
 - (2) 規定外シューズ使用者の扱いについては「失格」とする。競技前に確認した場合は、そのシューズの使用を認めない。招集後に規定外のシューズの使用が確認された競技者は、失格とする。